(ｱ) 体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解すること。
(ｲ) 食品の栄養的な特徴が分かり，料理や食品を組み合わせてとる必要があることを理解すること。
(ｳ) 献立を構成する要素が分かり，１食分の献立作成の方法について理解すること。
イ　１食分の献立について栄養のバランスを考え，工夫すること。
(4) 衣服の着用と手入れ
ア　次のような知識及び技能を身に付けること。
(ｱ) 衣服の主な働きが分かり，季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解すること。
(ｲ) 日常着の手入れが必要であることや，ボタンの付け方及び洗濯の仕方を理解し，適切にできること。
イ　日常着の快適な着方や手入れの仕方を考え，工夫すること。
(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作
ア　次のような知識及び技能を身に付けること。
(ｱ) 製作に必要な材料や手順が分かり，製作計画について理解すること。
(ｲ) 手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し，適切にできること。
イ　生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え，製作を工夫すること。
(6) 快適な住まい方
ア　次のような知識及び技能を身に付けること。
(ｱ) 住まいの主な働きが分かり，季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解すること。
(ｲ) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解し，適切にできること。
イ　季節の変化に合わせた住まい方，整理・整頓や清掃の仕方を考え，快適な住まい方を工夫すること。

C　消費生活・環境

次の(1)及び(2)の項目について，課題をもって，持続可能な社会の構築

に向けて身近な消費生活と環境を考え，工夫する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(1) 物や金銭の使い方と買物
ア　次のような知識及び技能を身に付けること。
(ｱ) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり，物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。
(ｲ) 身近な物の選び方，買い方を理解し，購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。
イ　購入に必要な情報を活用し，身近な物の選び方，買い方を考え，工夫すること。
(2) 環境に配慮した生活
ア　自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。
イ　環境に配慮した生活について物の使い方などを考え，工夫すること。

2　内容の取扱い

(1) 内容の「A家族・家庭生活」については，次のとおり取り扱うこと。
ア　(1)のアについては，AからCまでの各内容の学習と関連を図り，日常生活における様々な問題について，家族や地域の人々との協力，健康・快適・安全，持続可能な社会の構築等を視点として考え，解決に向けて工夫することが大切であることに気付かせるようにすること。
イ　(2)のイについては，内容の「B衣食住の生活」と関連を図り，衣食住に関わる仕事を具体的に実践できるよう配慮すること。
ウ　(3)については，幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々との関わりについても扱うこと。また，イについては，他教科等における学習との関連を図るよう配慮すること。
(2) 内容の「B衣食住の生活」については，次のとおり取り扱うこと。
ア　日本の伝統的な生活についても扱い，生活文化に気付くことができるよう配慮すること。
イ　(2)のアの(ｴ)については，ゆでる材料として青菜やじゃがいもなどを扱うこと。(ｵ)については，和食の基本となるだしの役割について